

# 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木克宗

事業名	一般国道7号 浪岡バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：青森県青森市浪岡下十川 至：青森県青森市大字鶴ヶ坂			延長	12.58km	
事業概要	浪岡バイパスは、青森市浪岡地区における国道7号の交通混雑の解消等を目的とした12.58kmの4車線道路である。					
S49年度事業化	S56年度都市計画決定	S57年度用地着手	S60年度工事着手			
全体事業費	260億円	事業進捗率	50%	供用済延長	8.4km	
計画交通量	22,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 2.3	総費用 (残事業/事業全体) 138/340億円 事業費：93/296億円 維持管理費：45/45億円	総便益 (残事業/事業全体) 323/817億円 走行時間短縮便益：285/712億円 走行費用減少便益：18/58億円 交通事故減少便益：20/47億円	基準年 平成17年		
感度分析の結果	事業全体・残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量変動：B/C=2.7(交通量+10%) B/C=2.1(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.3(事業費+10%) B/C=2.5(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.7(事業期間+20%) B/C=3.2(事業期間-20%) 【残事業】交通量変動：B/C=2.8(交通量+10%) B/C=1.9(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.2(事業費+10%) B/C=2.5(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=2.1(事業期間+20%) B/C=2.5(事業期間-20%)					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（渋滞損失時間：60.3 9.7万人・時間/年と約8割削減）</li> <li>災害への備え（緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路を形成する）</li> </ul>					
関係する地方公共団体等の意見	浪岡バイパスは、青森市浪岡地区における国道7号の交通混雑の解消、冬期における安全な生活道路の確保や東北縦貫道の代替路の機能強化等に重要な役割を果たすことが期待されており、青森市をはじめとする関係首長で構成される国道7号整備促進期成同盟会より、早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	【執行済み額】事業費：130億円（進捗率 50%） うち用地費：40億円（進捗率 80%）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業進捗に係わる問題はなく、L=2.1km区間について、平成20年代の暫定2車線供用を目標に事業推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等	2車線施工に際し、初期投資を抑えるべく、 <u>かんきよ</u> 函渠等構造物の2車線施工を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。